

# 授業科目 NO. 812 助産所実習

## Maternity Home Practicum

授業の形態： 実習  
単位数（時間数）： 1単位（45時間）  
開講年次・学期： 4年次・前後期  
必修・選択の別： 選択・助産師選択コース必修  
キーワード： 開業助産師の役割、助産管理、地域医療連携、助産実践

### 1 金沢医科大学看護学部の到達目標（全科目共通です）

- ① 豊かな人間性と倫理観
- ② 看護学の知識と技術、及び実践力
- ③ 地域志向を視野に入れた専門性の獲得
- ④ 生涯学習能力
- ⑤ 国際的視野の獲得

### 2 学修目標

#### 1) 一般目標（GIO）

地域に根差した開業助産所における助産師の役割と女性や家族の自然出産への思いを把握し、助産実践に必要な知識・技術・態度を修得する。また、特徴的な助産所の管理・業務や医療連携の在り方を学修する。

#### 2) 行動目標（SBO）※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学看護学部の到達目標との関連を示す。

- (1) 妊娠期から育児期をとおり、母子が正常に経過するために必要な助産ケア及び管理について考察できる。(②③)
- (2) 助産所における分娩管理の実際が説明できる。(②③)
- (3) 地域医療連携、他職種協働の実際を理解し、地域における助産師の役割・責務について考察できる。(①②③④)

### 3 学修内容

実習の内容は、実習要項に示す。

## 4 評 価

評価項目	評価割合
定期試験成績	
実習成績	70%
レポート	30%
授業態度	
小テスト	
口頭試問	
その他	
合計	100%

## 5 教育担当者

科目責任者：山崎 智里

准 教 授      山崎 智里（母性看護学・助産学）  
助 手          大嶋 舞香（母性看護学・助産学）

## 6 教 科 書

母性看護学及び助産学で教科書として指定した本

## 7 推 薦 参 考 書

授業で指定した参考書、授業時の配布資料などを活用する。

## 8 準備学修に必要な時間及び具体的な学修内容

- 1) 助産学方法論Ⅰ～Ⅴ、助産管理の講義資料及び技術について復習しておくこと。特に地域における母子保健や助産管理・業務に必要な知識・技術を十分復習して臨むこと。
- 2) オリエンテーションまでに必ず実習要項を熟読し準備学修をして臨むこと。
- 3) 医療法で定められている、助産所の構造設備の基準概要、入所妊婦等の制限、院内掲示義務、嘱託医師の設置等について学修し、実際の助産所にてその内容を確認・質問できるようノートにまとめておく。

## 9 課題（試験やレポート等）に関するフィードバック

- 1) 提出されたレポートについては、必要に応じてコメントする。
- 2) 実習に関しては、評価表を基に到達度や課題をフィードバックする。

## 10 履修上の注意事項

- 1) 詳細な実習内容・方法や留意事項は、助産学実習要項を参照すること。
- 2) 健康管理には十分注意すること。

## 11 オフィスアワー等

担当教員が実習施設に出向いた時に質問を受ける。それ以外の時間帯は、実習オリエンテーション時に担当教員の連絡方法を伝達する。